

途中観察は腐食量に大きく影響しません

塩水噴霧試験① 中断による腐食量の比較

アピールポイント

- ✓ 中断を繰り返し腐食減量を確認
- ✓ 観察のための試験片取出しニーズに対応



噴霧が充満して曇るため試験槽越しの観察は困難

技術の特徴

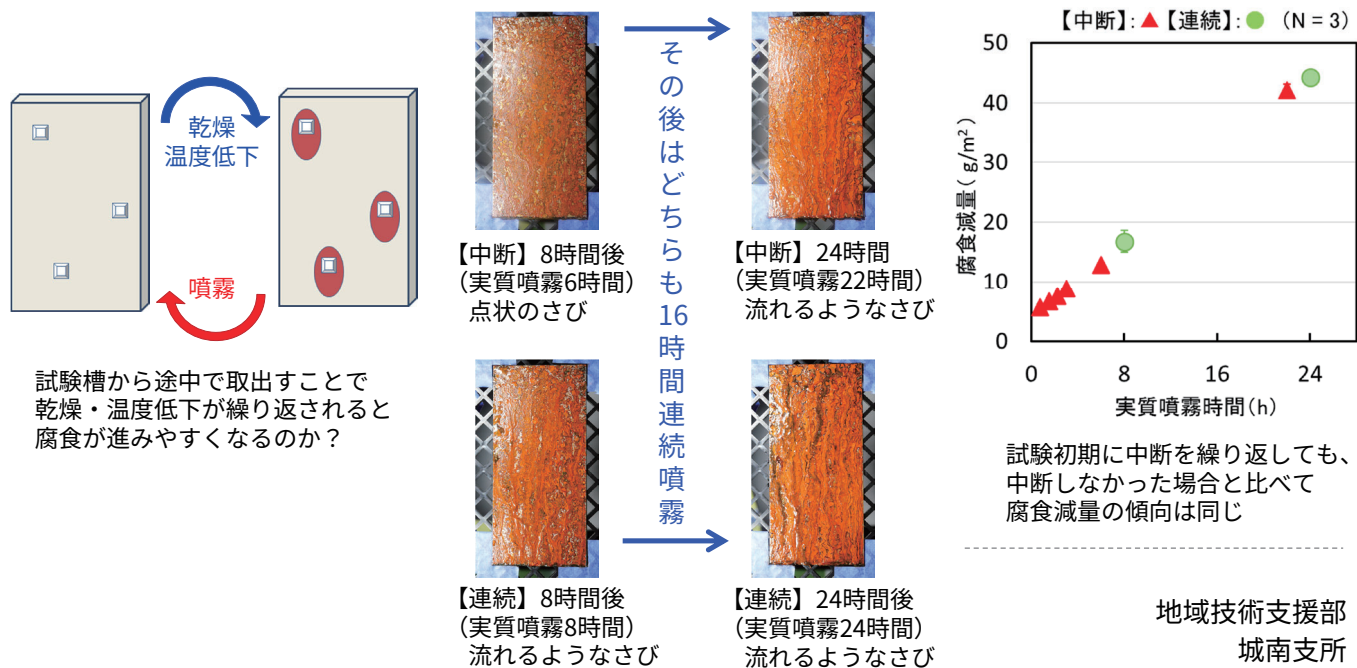
- SPCC鋼板の塩水噴霧試験中の継時変化を、試験槽から取出して観察
- 観察目的の塩水噴霧中断が試験片に与える影響を、一定時間毎に取出した試験片の腐食減量により評価

企業へのご提案

- 塩水噴霧試験槽から取出して観察や写真撮影を行った際に、総噴霧時間が見積もれます

技術の概要

- 無垢のSPCC鋼板を、塩水噴霧試験機（5%,中性）に設置
 - 試験槽から15分/1時間中は取出す【中断】試験片と、取出さない【連続】試験片を比較
- ※ 【中断】試験片の実質噴霧時間は1時間につき45分



地域技術支援部
城南支所
清水 綾